

ドコマデモ

第19号

令和3年
3月発行

[発行元]

高島町青少年育成町民会議

事務局：高島町社会教育課

TEL 52-4487

私たちは、私たちの生活を支えている方々への感謝の気持ちを忘れず、あたたかい思いやりの心をもって、差別や誹謗中傷のない山形県づくりに取り組んでいくことを宣言します。



【コロナ差別ノー！宣言】

1. 私たちは、感染者や医療従事者、その家族等への差別や誹謗中傷は決して行いません。
2. 私たちは、医療従事者をはじめとした、県民生活を支えている方々に感謝し応援します。
3. 私たちは、県民一人ひとりが思いやりの心を持ち、一丸となってコロナを乗り越えていきます。



▲高島町高校生ボランティアサークル地球（テラ）

「幼児施設へ贈る工作おもちゃの制作風景」

会報発行に当たって

高島町青少年育成町民会議
会長 丸山 信雄



町民の皆様には、日頃より高島町青少年育成町民会議の活動に對しまして、多大なるご支援ご協力をいただき心より御礼申し上げます。

本会は、町内の19団体が集まり、7・11月の青少年健全育成啓発活動や、小中学生に向けたあいさつ運動を展開しております。しかし今年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、小中学生の安全・安心を最優先とし、事業の一部を縮小・中止いたしました。

さて、私の体験から青少年健全育成について話をさせていただきませんが、地域交通安全活動推進員を長く続ける理由に、子どもたちの元気な姿を見守ることがあります。ある時、卒業を控えた6年生からお手紙をいただいたことがあります。

「6年間見守ってくれてありがとうございました」と、些細なことでも感謝してくれた心が嬉しく、心身ともに成長した姿に大変感動しました。コロナ禍による休校期間は町から子どもたちの姿が消え、大変心が痛みましたが、日々の交通指導立哨を通し改めて、「子どもは地域の宝」「我々大人が子どもたちの模範」とな

ることが大切ではないかと実感しています。

今、コロナ禍による社会環境の悪化「コロナ差別」が指摘されています。いじめは子どもだけの問題ではなく、誰であつても社会からの不当な隔離は許されるものではありません。

山形県では、新たに「コロナ差別ノー！宣言」県民運動を立ち上げました。当会もその趣旨に賛同し、上記宣言を誓います。町民一丸となり、優しさと思いやり、そして正しさを貫ける心の強さを持って、この厳しい時を共に乗り越えていきましょう。

誌面変更に伴い、当会事業報告は最終ページに掲載いたしました。最後までご拝読頂きますと幸いに存じます。

会報タイトル「ドコマデモ」について

町民の皆様様に親しみやすく読みやすい会報を目指して、新しくタイトルを付けました。子どもでも大人でも「そばにはいつでもどこでも思ってくれる助けてくれる人がいるそしてそんな人が一人でも増えてほしい」という願いを込めて、高島町の偉人である童話作家浜田広介氏の文学の一節から着想を得ました。

もくじ

- 会長のあいさつ
- 高島町青少年育成推進員会
- 高島町人材養成事業「まちの新人研修」

- ①
- ②
- ③

- 特集「高島町高校生ボランティアサークル地球」
- 子どもの遊びと学びの応援団「放課後子ども教室」
- 青少年健全育成活動報告・構成メンバー紹介 他

- ④⑤
- ⑥⑦
- ⑧